

実践紹介1 (小学校5年)

登場人物のストーリーを自分ごとにして学ぶ

おくひら さやか
奥平明香

沖縄県豊見城市立ゆたか小学校 教諭
(5学年担任・5学年外国語専科)

外国語で、聞くことの活動の先にあるものは、必ず「人を知る楽しさやおもしろさ」でしょう。登場人物のキャラクター設定を探りながら『Here We Go!』のアニメーションを見ることで、ストーリーの展開を楽しみながら視聴する子が増えました。私自身、ストーリーの内容からSmall Talkを展開させたりして、子どもたちと一緒に登場人物の人柄を想像して楽しんでいます。ここでは、私自身が行った5年生1学期の活動を振り返ってみたいと思います。

「教科書の中にも、お友達がいるよ!」

ストーリーの世界観に引き込むため、まずは、「出会わせ方」にひと工夫しました。5年生のUnit 1は、自己紹介の単元です。新しいクラスの友達や先生とのやり取りを十分に行った単元の後半で、教科書を導入しました。

「これまで、自分の好きなもの・ことについてたくさんやり取りしてきたね。実は、教科書の中にもみんなと同じ5年生のお友達がいるよ。自分に似ている子、気が合いそうな子、誰かに似ている子がいるかも」。そう言うと、「えー! どんな子? 何名? どこの国の人?」と、子どもたちの「登場人物を知りたい」という気持ち

が膨らみました。こうして、第6時にして初めて、聞くことの活動を取り入れました。やり取りを十分に楽しんできた経験から「どんな子たちがいるか知りたい!」という気持ちが高まっていたようです。

Unit 1 Hello, everyone. 「どんな子かな?」

「どんな子か知ろう。気が合いそうな相手は誰かな?」と、聞くことの目的を設定し、セリフを聞いてわかったことを漫画のように吹き出しでメモ書きできるようなワークシートを配布しました。そこにニコちゃんマークの自分自身を登場させ、子どもがその場で二人の会話を聞いているイメージがもてるように工夫をしました。下のシートでは、登場人物の和希とリリーの出会いの場面で、名前やスペルを伝え合うやり取りを聞いて、子どもは自分自身の名前やスペル、挨拶をつぶやいています。



子どもが記入したワークシート

登場人物たちの会話からSmall Talkへ

「食べ物」は、子どもたちに大人気のトピックです。授業の初めに行うSmall Talkでは「What's Lily's favorite fruit?」「How about Nick?」と、登場人物のことについてクラス全体に尋ね、答えを引き出します。そこでさらに「I love mangoes! How about you? ○○ san?」と教師自身のことを話したうえで、数名の児童に尋ねます。や



子どもどうしてのやり取りの様子

り取りへの不安が薄まった頃合いを見て「Any volunteers?」とチャレンジャーを募り、席が離れている子どもどうしてペアを組ませました。いつもと違う相手とドキドキしながら、好きなフルーツについてやり取りをする様子には、5年生ならではの初々しさが光ります。緊張しながらも外国語でわかり合えたうれしさ、マスクの下の大きな笑顔が見えるようでした。

Unit 3 What do you have on Monday?

Unit 3のトピックの一つである、好きな教科を尋ね合うやり取りでも、ストーリーの内容からやり取りを展開させました。「次の日、体育があると思っていたのに勘違いだった」というニックのエピソードに、クスクス笑う子どもたちの反応を生かしました。「What subjects does Nick like?」と尋ね、子どもたちから「Arts and crafts and calligraphy.」という答えを引き出しておいたうえで、「That's right. But, what is Nick's favorite subject? Anything else? What do you think?」と投げかけて、ストーリーを深読みさせます。子どもたちは、体育がなくて残念がるニックのセリフや表情から、「本当に好きな教科はきっとP.E.だよ」「僕の周りでもP.E.が大人気だし、同じ5年生だから、一番は体育だと思う」などと、これまでの友達とのやり取りで知りえた状況とも重ねて考えながら発言し始めます。しめしめと思いながら、ここで「じゃあ、クラスで人気の教科を尋ね合お

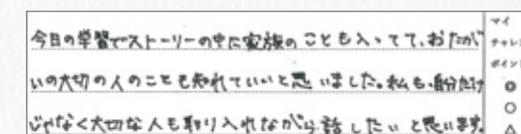
う」と、やり取りを行いました。プール学習の真ただ中だったこともあり、子どもの予想どおり、今回は体育が大人気でした。

Unit 2 When is your birthday?



Unit 2の授業の板書

「誕生日」を扱うこの単元は、沖縄県の慰霊の日へ向かう平和学習と関連させ、「生命尊重」とリンクして学ぶことでより深い学びにつながるを考え、学習時期をUnit 3と入れ替えて行いました。『Here We Go!』のストーリーでは、ニックの母親が登場したり、和希の母親がリリーと同じ誕生日であったりと、「お母さん」の登場があるのも魅力です。それを生かし、「When's your mother's birthday?」「When's your grandma's birthday?」と尋ね、自分が家族の大切な一員であることや、生命のつながりを感じ取ることができるようなSmall Talkを展開しました。



第2時の振り返りの記述

子どもたちの感性や発想を生かして

小学校外国語科では、相手を知る楽しさを味わいながら英語を学びます。今後も魅力あふれる登場人物やストーリーの世界観を楽しみながら、子どもたちとクリエイティブな学習を共創していきたいと思っています。